第61回つなごう命の会定例学習会

東電事故13周年 怒りと悲しみを込めて振り返る 2024年3月16日 (土) 矢ヶ崎克馬

次回5月25日(土)

「科学と人道に立つ新被曝基準体系」 「照射線量 = 吸収線量 | の落とし穴

つなごう命の会

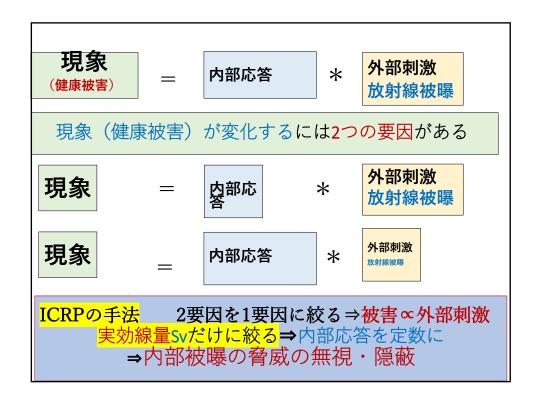
放射能公害被災者に人権の光を!

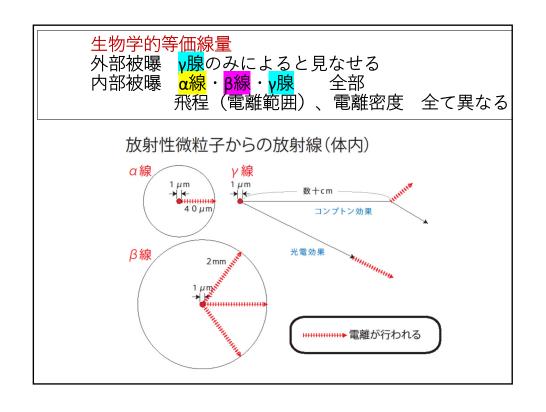
2011年11月に会として結成(活動は同年3月から始めている)

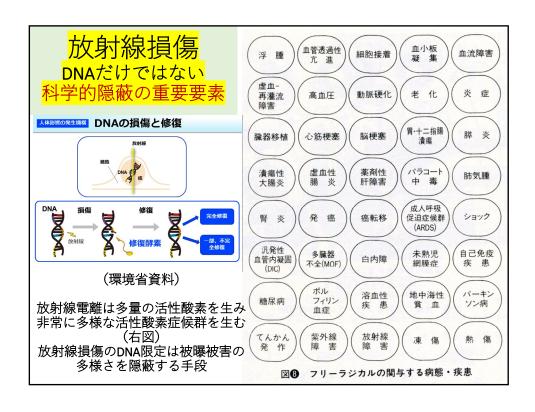
まずは手短に前回のおさらい

ICRPの内部被曝隠しの手法

- ①被曝被害は「線量に比例する」に潜むからくり 科学因果律をどのように否定しているか?
 - ②電離対象をDNAに限定することにより、 非常に多面的な健康被害を隠蔽する







日本は法治国家なのか?

住民を守ることのできない野蛮国なのか? 民が被った棄民の手法↓

> ①「永久的に汚染された地域」に住民を住み続けさせる ②有害物質(放射能)の積極的摂取

⇒食べて応援・風評被害 100Bg/kg以下は安全

③法や国際基準を守らなかった

虚偽の嵐一放出放射能の過少評価・被曝から内部被曝を排除・外部被曝量不 法過少評価・健康不良精神的ストレス論

> ④差別と分断→住民どおし・避難者(強制・自主) ・オリンピックのための避難者減らし

ΛÎ

未必の故意⇒9年間で63万人の大虐殺



白河市からの避難者伊藤路子さん つなごう命の会を沖本八重美さんと立ち上げ 助け合いの中心となっている

小出裕章氏後援会の主催者を代表しての挨拶抜粋

事故直後に原子力緊急事態宣言が発令され、 住民の被曝限度が年間1ミリシーベルト以下から 20ミリシーベルト以下まで引き上げられために

殆どの避難者が自主避難扱いとなり、賠償や支援が受けられず、子供を抱えて泣く泣く地元に帰らざるをえなかった家族がたくさんいました。

基地と原発は国策です。 国の役目は国民の命と暮らしを守ることが最優先のはずなの に、国策の押し付けによる人権侵害、棄民が日本中に起きてい ます。

この国は何を守り、一体どこへ向かおうとしているのか?

3.11当年2011年死亡者 地震津波死亡者より3倍も多い

2011年の突出的死亡増

福島

地震津波死1607人、行方不明207人(警視庁資料) 異常増加死者数は 4016人

(地震津波関連死のおよそ2.5倍)

全国

地震津波死15899名、行方不明2528名(警視庁資料) 合計18427名

異常増加死者数は 62077人 (3,4倍)

地震津波関連死の数倍に上るのは何故か?その後は?

隠されている死亡者の異常増加

厚労省 人口動態調査 より

矢ヶ﨑克馬、小柴信子 分析

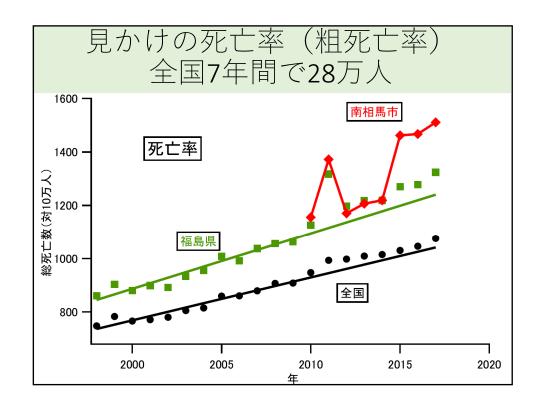
Л

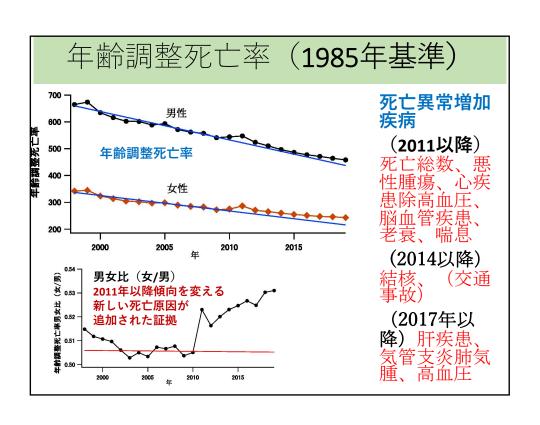
死亡率の事故との時間相関が明瞭

①粗死亡率

②年令調整死亡率

③性別年令別死亡率





犠牲者

チェルノブイリ

当初9000人、 18年後の2004年までに

105万1500人 (チェルノブイリ被害の全貌)

日本

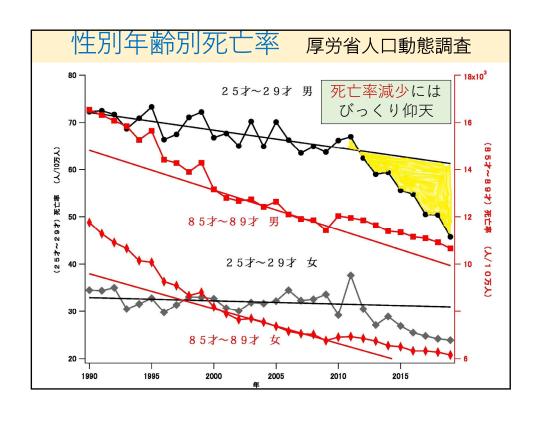
9年間で (2011年~2019年)

63万人の死亡異常増加

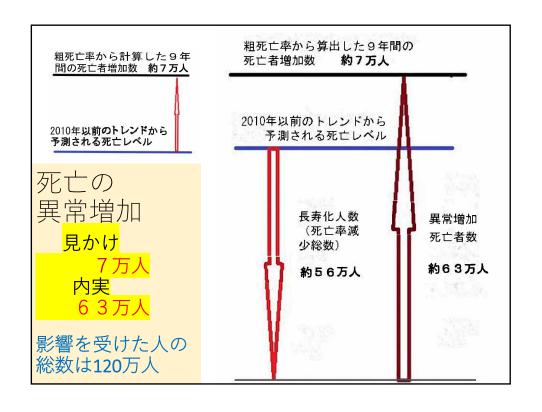
57万人の死亡異常減少

見かけの死亡増は7万人

計120万人に影響(厚労省/人口動態調査)



		-	Ы	<u>-</u> -		- 5	水	<u> </u>	\mathcal{T}	E	尹	<u></u>	片	1	台	+	ıП	Į	_	豆	2	뇓	分 、	È	t	<u>, </u>	<u>.</u>	
		,	У[ر			•			-			•							-	-		-		X ,	2	_	
					(第	2	列	男	ع ا	- 5 - 5	頯:	3歹		女		第	1	列	は	さ	ζ/	男	()				
2011以降ずれ	ι				女/男	3								男									女					2007
年	11	12	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	18	19	男/女
0~4	P	P	Z	Р	Z	Р	Р	Р	Р	SP	Z	SN	SN	SN	Sn	SN	Z	SP	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	1.2
5~9	P	Z	N	N	N	N	N	N	N	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	P	Z	N	N	Z	N	N	N	N	1.2
10~14	P	Z	SN	N	Р	N	N	N	P	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	1.2
15~19	P	N	N	N	N	N	N	N	N	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	P	Z	N	N	N	N	N	N	Z	2
20~24	Р	N	N	N	N	N	N	N	N	P	P	Р	Р	N	N	N	N	N	P	N	N	N	N	N	N	N	N	2.1
25~29	P	Z	N	N	N	N	N	N	P	P	Z	N	N	N	N	N	N	N	P	Z	N	N	N	N	Ν	N	N	2
30~34	P	Z	Z	N	N	N	N	N	N	Z	N	N	N	N	N	N	N	N	P	Z	Z	Z	N	N	Z	N	N	1.9
35~39	P	N	N	Р	N	Z	N	N	Ν	N	N	N	N	N	N	N	N	N	P	N	N	N	N	N	Ν	N	N	1.8
40~44	P	Z	Z	Z	Z	P	P	Z	Z	N	N	N	N	N	N	N	N	N	P	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	1.9
45=49	P	Z	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	N	N	N	N	N	N	N	N	N	P	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	1.9
2011以降ずれ	l				女/男	3								男									女					2007
年	11	12	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	18	19	男/女
50~54	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	P	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	P	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	2
55~59	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Z	N	N	N	N	N	N	N	N	P	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	2.3
60~64	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	2.5
65~69	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	P	P	Z	Z	Z	Р	Р	Р	Р	P	P	Р	Р	Р	Р	P	Р	Р	2.5
70~74	Z	N	N	N	N	N	N	N	N	Z	Z	Z	Z	Р	Р	Р	Р	Р	P	P	Р	P	Р	Р	Р	P	Р	2.3
75~79	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	P	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	P	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	P	Р	2.2
80~84	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	P	Z	N	N	N	N	N	N	N	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	2
85~89	Z	Р	Р	Р	Р	Р	P	P	Р	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	Р	Р	1.7
90~94	P	Р	P	Р	P	P	P	Р	P	P	Р	Р	P	Р	Р	P	Р	P	P	Р	Р	Р	Р	Р	P	Р	Р	1.5



死亡者異常増加に加えられた一員たち

「部落内に頻繁にお葬式がある」

「火葬までに一週間も待たされた」

身近にも「明らかに」被曝によって亡くなられた人がいます。



沖本八重美 2013年1月16日斃れる3分前の言葉

一人一人が大切にされる 社会目指して 力を合わせましょう!





「被爆者の苦しみを福島の人々に 再現させてはならない」 被爆者としての強い思い

- ⇒矢ヶ﨑と共に頻繁に福島に通う 住民との懇談会等
 - →沖縄で避難者支援の活動

沖本八重美には **冠動脈その他に血管狭窄は無かった** 心臓発作後に確認された

心臓・大脳は 新陳代謝がほとんど無い組織 ↓

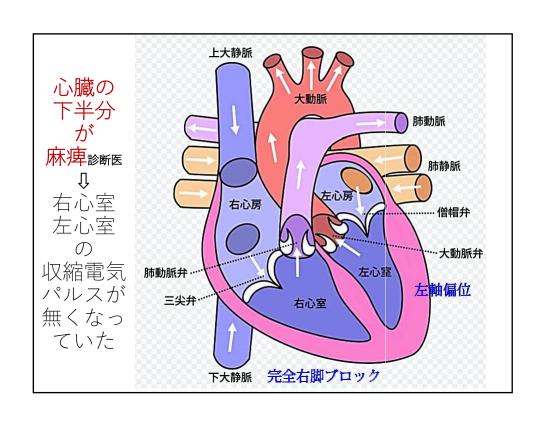
放射線による電離の**損傷が蓄積**される また最も多くの**血液が集中**する被曝量の多い臓器

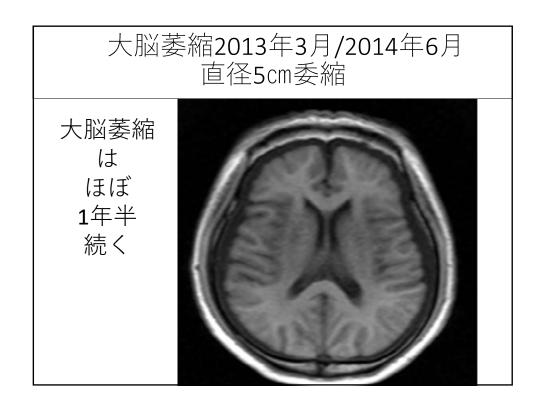
Ú

心臓組織・大脳組織を**脆弱化**する

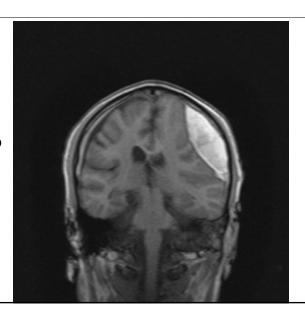
矢ヶ﨑克馬の健康被害 (夫婦同時期に襲われていた) 異常の心電図 沖本八重美急逝の23日後

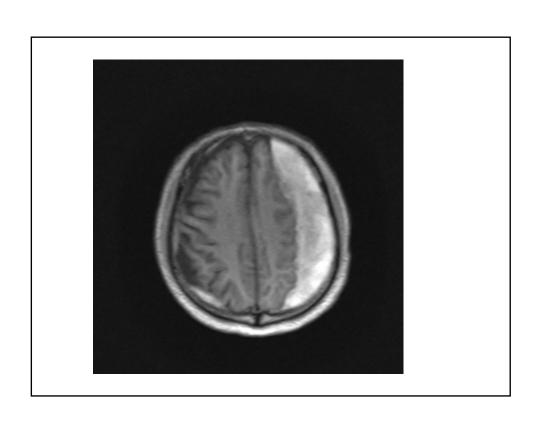
2013年02月19日15:26:41 安静時	異常の心電図 負荷判定: 不可
ID:000000204736	504: 完全右脚プロック 732: 側壁梗塞の疑い I, Vs
氏名: 矢ケ崎 克馬 男 69歳(1943年11月21日)	205: 左軸偏位
身長: cm 体重: kt 病棟 科	
BP: /	





硬膜下血腫2014年10月27日 55mL





野原千代どん

(愛知大准教授→琉球大学理学部の大学院生に) 2015年10月28日没 60才







ヤマトシジミ の内部被曝 放射能汚染された**カタバミ** を餌として 飼育

腎臓機能が悪化し、福島/東京に行くと浮腫が発生し体重40kgが60kgほどになる。沖縄に帰ると1ヶ月ほどで元に戻る。そんなことを繰り返したが、次第に回復時間が長くなり、その状態で国際会議にヨーロッパに出かけ、帰国後亡くなった

千代さんの遺言 多喜百合子 (いのちの籠)

「死んでも行く、一人でも行 く」と

言い続けた。

沖縄の琉球大学院生だった 千代さんが

研究室を動かした。

まるで

我が子が

フクシマに取り残されている かのように。 (一部分)

2015年10月28日 千代さんは 亡くなった。

矢ヶ崎克馬 琉球大学名誉教 授は

千代さんの遺体の前で 言った。

「野原千代さんは 彗星のごとく現れ、

4年半という短い間に

偉大な成果を

成し遂げられた」

千代どんの 研究者魂

が 対射さでの響かがい代責。 がは状がなけ究しはじ棄

東電事故13年 法治国家の瓦解人権の切り捨て差別

これほどまでに

人々の願い/善意を踏みにじる政治があろうか? 巨大規模で未必の故意による大虐殺が行われた

①「永久的に汚染された地域に住民を居住させ続ける」 ②有害物質の積極的摂取(食べて応援)への大動員 100Bq/kg以下は安全の大キャンペーン

厚労省データ⇒

- ①事故後9年間で63万人死亡者異常増加 小児とお年寄り
- ②57万人の死亡者の異常減少 青年/壮年層
- ③小児甲状腺がん多発
- ④病院患者・特別支援児童・要医療児童・イジメ・等々 急増

東電事故13年

法治国家の瓦解人権の切り捨て差別

被災者の心 故郷を守りたい/社会関係を維持したい 自主避難者 健康被害で故郷に居たくても居られない 強制避難者とのこれほどまでの差別!

全国の住民 被災者を何としても支援したいと思う人 ほど大きな被害を受けた⇒9年間で63万人の死亡増加

日本政府/原子力ロビーの手法

警戒心を解いて居住・健康被害物質の積極的摂取強制 何という卑劣な手段か!

東電事故13年 法治国家の瓦解人権の切り捨て差別

主権を捨てた政府は国民を守らない

この国は「国の安全保障(核兵器準備)のため」 何としても原発・再処理施設を維持し、 そのために汚染水を流す

⇒憲法を守れる・主権者の 人権が 命が 守られる 尊厳ある主権を体現できる国を再建しよう!

自らの主権を放棄した<mark>他国の傀儡</mark>は 国民を守らない

サ条約で「米国のための反共不沈空母」の片面講和・主権放棄 吉田首相たった一人に署名させた「日米安保条約」

侵略戦争により他民族の主権を踏みにじった日本は 自らの主権もいともたやすく放棄して主権者を裏切った これ以上の屈辱はない

自公/傀儡保守⇒憲法と主権者は「目の上のたんこぶ」 如何にしてそれらを破壊・無力化するかの歴史を作った(70年間) ⇒今、戦後政治の総決算「戦争のできる美しい国」

ケネディーライシャワー路線(1961~)

「共産党を孤立化する」ことが日本統治のキーポイント ⇒反共を受け入れた日本住民は民主主義さえ失った (マルチンニーメーラ牧師の言葉の通りの状態)

保守も革新も反共を止めて民主主義/主権在民を取り戻そう

ライシャワー講演 米統合軍司令官交代式(1961)

- ①日本の安定統治のためのキーポイントは 共産党を孤立化させること 彼らは懐柔できない
- ②他の全ての野党は懐柔可能
- ③自民党が凋落して他党が政権につくとき、 自民党と全く同じ施策が継続するようにすること
- ④我々は10年掛かろうが20年掛かろうが やり遂げねばならない⇒1980年 社公合意で政治的達成

KR路線の実施内容 学者文化人、政治家、労働組合活動家、平和運動活動家、市民運動活動家 等々、 あらゆる指導的人物を米国に招待し、金を与え、優遇し、「アメリカナイズ」という言葉で反共活動家に仕立て上げる。

市民連合発足まで共産党含む野党連合回復せず(沖縄は維持)

Friedrich Gustav Emil Martin Niemöller 牧師の詩

1892年1月14日 - 1984年3月6日

ナチが共産主義者を襲ったとき、自分はやや不安になった。けれども結局自分は共産主義者でなかつたので何もしなかつた。

それからナチは社会主義者を攻撃した。自分の不安は やや増大した。けれども自分は依然として社会主義者 ではなかつた。そこでやはり何もしなかつた。

それから学校が、新聞が、ユダヤ人が、というふうに 次々と攻撃の手が加わり、そのたびに自分の不安は増 したが、なおも何事も行わなかつた。

さてそれからナチは教会を攻撃した。そうして自分は まさに教会の人間であつた。そこで自分は何事かをし た。しかしそのときにはすでに手遅れであつた。

放射線被曝から住民を守るキーポイント

- (1) **原発全廃**以外に住民の人格権を守る術は無い
- (2) 法治国家として法律を守る(当面1mSvを守る)
- (3) ICRP体系に変わる科学的で人権尊重の基準 放射線被曝に関する**科学的人権宣言**
- (4) チェルノブイリ法日本版を法律化する 放射線被曝に関する**法的人権宣言**

当面 各種原発/被曝訴訟を勝訴させる

東電事故13年

復興一住民帰還促進のときか? 事実・人権・法・健康被害・世界に対 する責任の観点で 見直すとき

Cs137半減期30年 放射能強度やっと4分の3に<mark>強烈な放射能残存</mark> 事実⇒メルトダウン誘因は津波か地震動か?

⇒地震大国日本の原発安全基準に関わる

被曝線量表示は?モニタリングP、空間線量で過少評価

甲状腺被曝線量は測定されたか?NO.⇔UNSCEAR

被曝線量;外部被曝のみ⇔チェ法内部被曝含む

人権⇒法律は守られたか? 1mSv/年

20mSv指定区域外は? ⇒当然1mSv

環境保護⇒廃炉放射の漏らしっぱなし(未だに1gのデブリも取り出せない)

健康被害⇒強烈に隠蔽されている 9年間で63万人の死亡者異常増加

甲状腺がん、死亡者、各種がん、老衰等各種死因別の<mark>異常増加</mark> 子どもたちへの健康的・精神的ダメッジ

放射線 管理区域

①外部放射線

3ヵ月で

実効線量が1.3mSv。

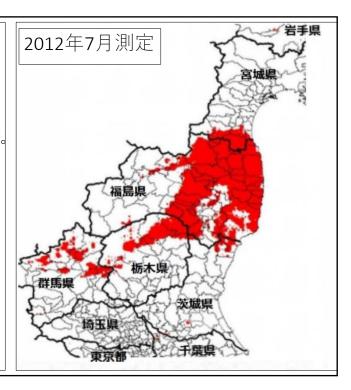
②空気中の放射性 物質濃度

3ヵ月で限度の10 分の1。

③外部被曝 アルファ線を出さ

ない場合は 4万Bq/m²。

区域内人口157万 人



セシウム137の分布図 2022年10月 宮城県 ■ 4万~10万馀 測定 📕 10万~50万馀 面積 ■ 50万%~ 2012年7月 ※1平方気あたり に比し 福島第1原発 ほぼ4分の3 福島県 CS137半減 期30年に 対しほんの 短期間 0 茨城県 20km 過ぎただけ ⇔空間線量 ※原子力規制庁のデータを基に今中哲二・京都大複合原子力 科学研究所研究員が作成した図を改変、2022年10月時点 は激減⇔ 土壌汚染は 減少少々

果樹園の汚染 農民連測定2016年

土壤汚染						
汚染度	場所数					
(万 Bq/m²)						
2.7	1					
4≦10	4					
10≦20	28					
20≦30	50					
30≦40	43					
40≦50	23					
50≦80	13					
(計)	162					

放管域以 162ヶ中った 1ヶ

過去最高魚介類污染

東電原発事故後6年(2017年)以降の海産物の汚染に関する報道

① 2017年7月13日 クロダイ (S:30Bq/kg)

福島沖:(東電核種分析結果)

過去最高のストロンチウム 90

② 2019年2月31日 コモンカスベ (161Bq/kg): 毎日新聞)

③ 2019年9月11日 クロソイ: (01.7Bq/kg) (東電核種分析結果)

クロソイ: (Sr:54 Bq/kg)

過去最高のストロンチウム 90

④ 2021年2月22日 クロソイ (500 Bq/kg): **時事通信**)

過去最髙セシウム 137

⑤ 2022 年 1 月 27 日 クロソイ (1400Bq/kg) 相馬市磯部沖(毎日新聞

<mark>過去最高セシウム 137</mark>

⑥ 2023年2月7日 スズキ (85.5Bq/kg) いわき市沖合(福島放送

局)

⑦ 2023 年 4 月 アイナメ (1200Bq/kg)

福島第一原発港湾内(共同通

信)

⑧ 2023 年 6 月 5 日 クロソイ (18000Bq/kg) 福島第一原発港湾内 (東電)

過去最高セシウム 137

⑨ 2023 年 9 月 21 日 玄蕎麦 (430Bq/kg) 福島テレビ

背骨の曲がったイワシ

2018年7月31日 気仙沼漁協水揚げ



魚屋で購入した 8尾 全部が 背骨湾曲 (小野寺晶氏提

原因は何だ ろう?

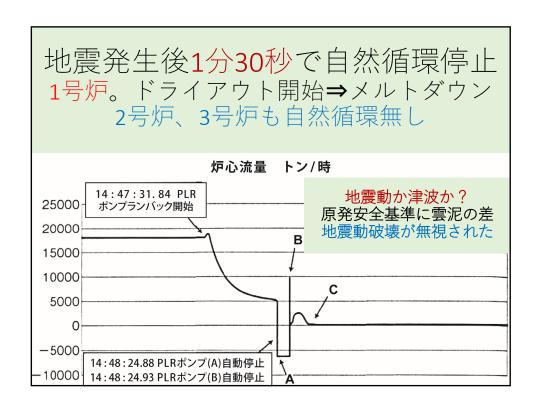
食べて応援以外の支援を!!!

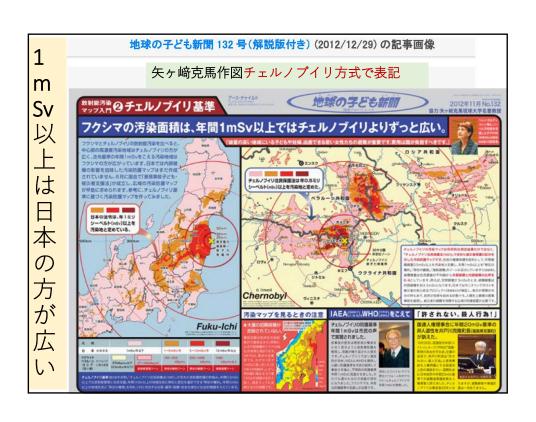
公表される魚介類検査結果はほとんど全てND ND < 25Bq/kg

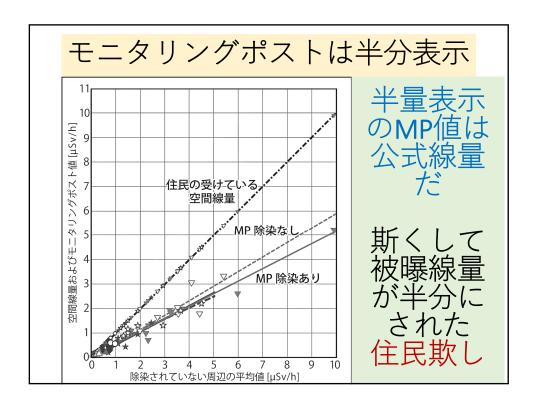
食物連鎖の上位魚類には びっくりするほどの高度汚染がある

「風評被害」キャンペーンで 日常的に最も大切な**食材選択の権利**(基本的人 権の重要素)を失わないように!

13年過ぎてから新たな「死亡者の異常増加」に 自ら参入しないようにしよう。







ニェルノ	ブイ	リの洌	景染ゾ	ーン			
		放出	放出された核汚染レベル				
汚染ゾーンの 区分	年間等価線量	C s 1 3 7	Sr90	Pu238, Pu239, Pu240			
	mSv/年		kBq/m² (Ci/km				
定期的に汚染検 査する居住ゾー ン	x<1	37~185 (1~5)	5.55~18.5	0.37~0.74			
移住の権利ゾーン	1< x < 5	185~555 (5~15)	18.5~74	0.74~1.85			
移住義務ゾーン	5< x	555~1480 (15~40)	74~111	1.85~3.7			
移住優先ゾーン	5< x	1480< x	111< x	3.7< x			
居住不可ゾーン		チェルノブイリ原発30kmゾーン 1986年5月に撤退					

チェルノブイリと日本の汚染区分

吸収	汚染強度 (線量(mSv/年)	チェルノブイリ	日本
外部	0.5 程—1	管理強化	
被曝	1—5	移住権利	居住·生産
内部	5—	移住義務	居住·生産
被曝	土地汚染基準のみ	強制移住	居住・生産
外部	20 - (早期に20以下となる見込み) 33 (チェ式)		避難指示解除準備区域
被曝	—50 (83)		居住制限
	50—		帰還困難

規制の 始まり 線量

日本は チェルノ ブイリの 33倍だ

極めて組織的網羅的 人権切り捨ての数々 (1)

- ①噴出放射能は、政府発表はチェルノブイリの7分の1 実態は2倍ほど東電事故が多い (ストールら、山田耕作ら)
- ②法による1mSv/年の被曝保護基準が無視 20mSv/年(チェルノブイリの保護開始の34倍)適用
- ③20 mSv/年決定の違法性 正式な手続き無し 文科省が「暫定的目安として1~20mSv/年」を福島県に対し て「行政通知」として発出した。
- ④20mSv決定に適用地域を明示せず⇒他地域の1mSv適用を放棄
- ⑤被曝線量から内部被曝を排除
- ⑥チェルノブイリで居住を禁止された 5mSv/年以上の汚染区域に 日本では120万ほどの住民が居住・生産 深刻な「日本独特の放射線被害」模様の展開
- ⑦放射性物質汚染対処特措法 制限基準が8000Bq/kgに 従来の100Bq/kgの80倍

人権切り捨ての数々(2)

- ⑧「体表面等に付着した放射性物質の除染基準」 OIL4基準 4万cpm (120Bq/cm²) ⇔福島県は10万cpm 基準を2.5倍緩和
- ⑨緊急時迅速放射能影響予測システム(SPEEDI)データ不開示
- ⑩安定ヨウ素剤を供与しなかった
- ①環境汚染線量値が法律値の60%に引き下げられた。 生活時間を8時間屋外、16時間屋内、屋内では40%の被曝量。 法廷値の60%に切り下げ
- ⑪モニタリングポスト「公的記録 約半分表示 (矢ヶ崎ら)
- ③市民の命を守るべき医師団 甲状腺検査の具体的データ不開示。 甲状腺学会「甲状腺セカンドオピニオンは受け付けるな」 患者が「放射線被曝では?」と懸念すると、診療医が直ちに (時には大声を上げて) 否定する。

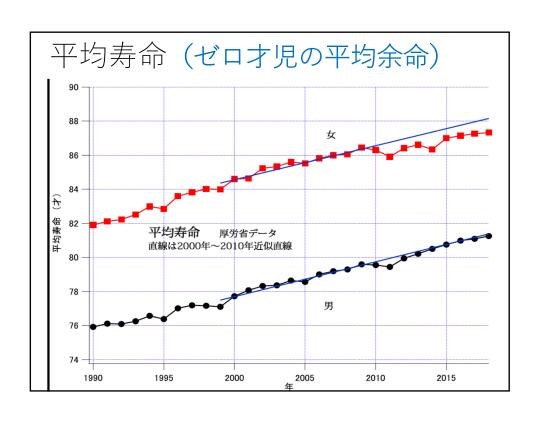
人権切り捨ての数々(3)

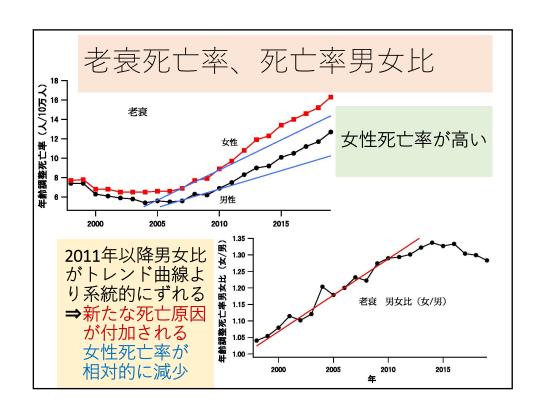
- ④ チェルノブイリでは住民の健康報告が約5000通(20年間)、 日本ではわずか十数通。
- ⑤ 放射線被曝を科学的に医療に取り入れるのでは無く、影響があることを 思考から排除——重松(山下)式宣撫
- (16) あからさまな虚偽宣伝ー「**放射線の影響は、実はニコニコ笑っている人にはきません。くよくよしている人にきます**。」(山下俊一(福島県放射線健康リスク管理アドバイザー)いわき市、福島市講演会
- ① 「永久的に汚染された地域に住民が住み続けることを前提に、心理 学的な状況にも責任を持つ」⇒IAEAの「知られざる核戦争」の心理 作戦はその場凌ぎの安心感を与える虚偽キャンペーン
- ® あらゆる健康被害隠蔽甲状腺がん被曝無関係、死亡率。患者増大
- 原子力緊急事態宣言と緊急対応:「原子力災害対策特措法」に従 わず現地対策本部から立地自治体(大熊町、双葉町、富岡町、浪江 町、洋野町、楢葉町)排除 諸機能担当班組織されず

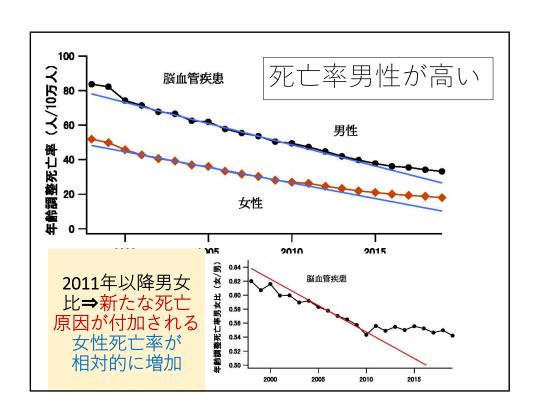
(例:「報道班」の代わりに枝野内閣官房長官が報道に当たった)

人権切り捨ての数々 (4)

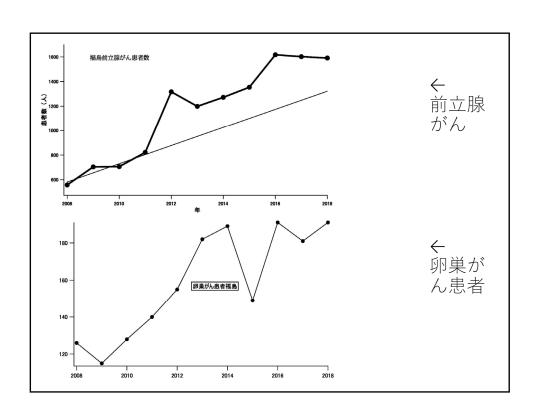
- ②「子ども被災者支援法」が設置された⇔放射能汚染の適用基準無し、具体的対処内容一切無し安倍内閣により反故にされた
- ② 原子力基本法が改定(2014年) 第2条に「我が国の安全保障に資することを目的とする」 「原発と核燃料再処理確保は核抑止力を睨む国の安全障」 の意図が「影の思惑」から「法」に格上げ
- ②「原発と核燃料再処理確保」⇒『トリチウム汚染水を「危険」と認識することは絶対に避けなければならない。
- ② メルトダウンした炉心は、チェルノブイリでは「**廃炉**」「生態学的安全」「**石棺**」⇔日本では「廃炉」未だ先見えず。炉心近くに強烈な高線量放射能域880トンの燃料デブリの回収は1グラムもできていないこの間放射能は空に海に放出され続ける廃炉作業はめどが立たず。日本政府は人と環境の保護の責任放棄。

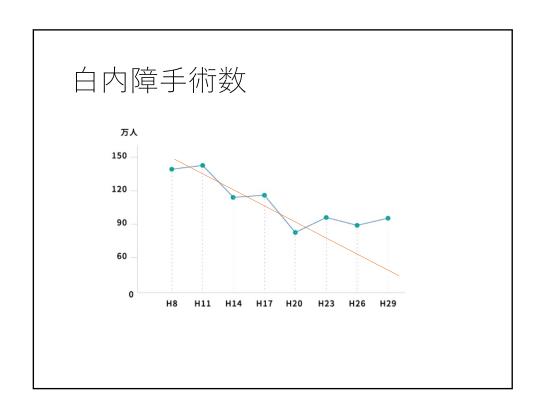


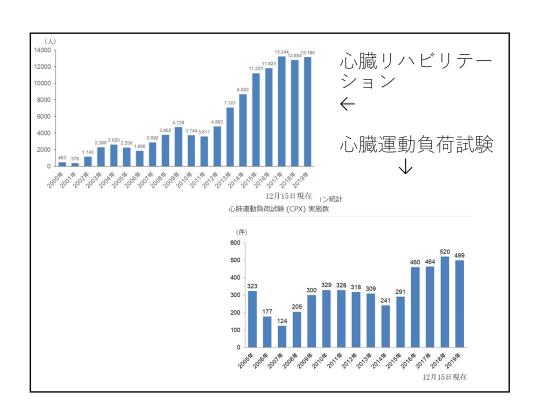




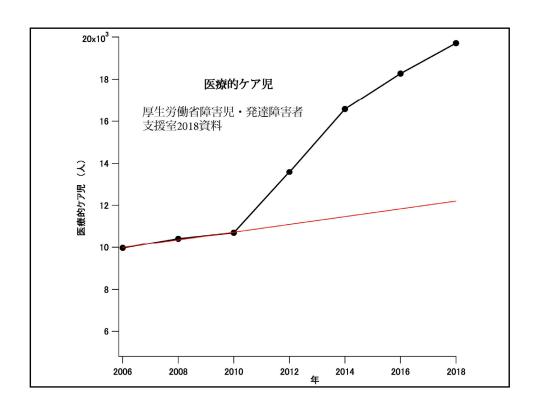
生きている人々の被害患者数の増加

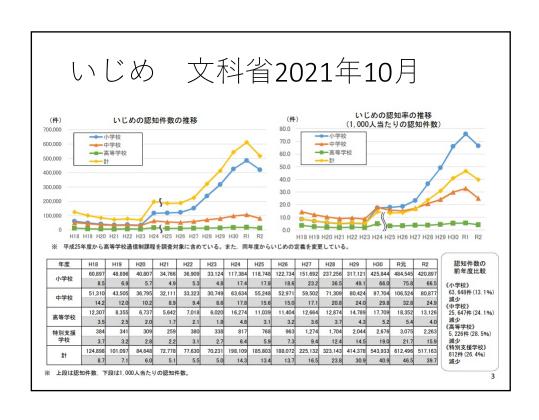


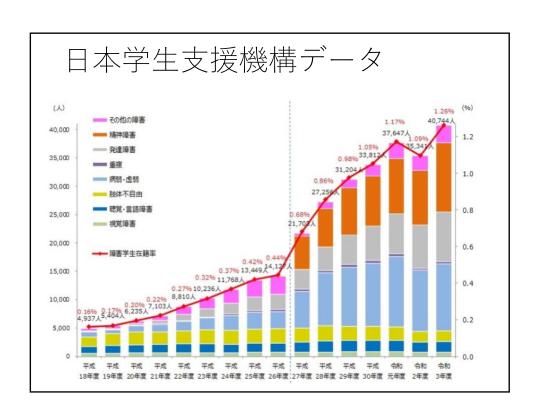


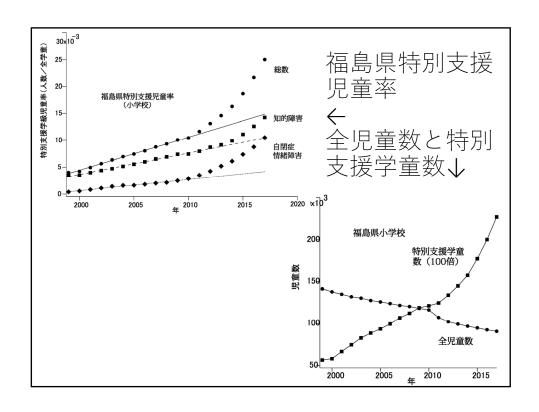


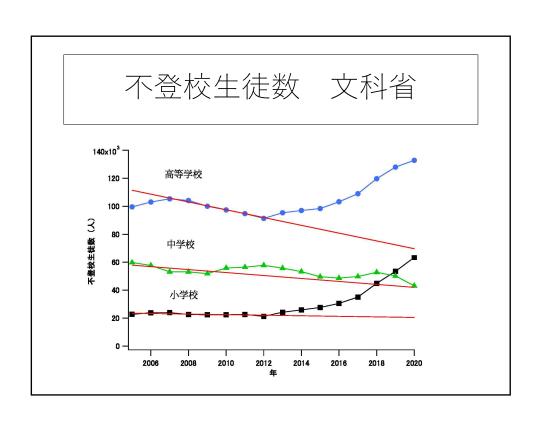
子どもたちへの影響 ⇒これも重大事 国も私たち市民も 一刻も早く防護すべき

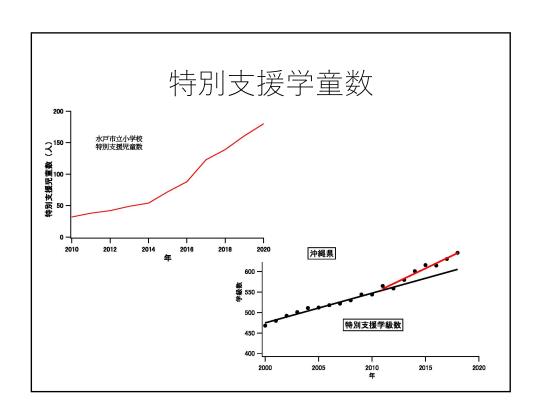












国**/**原子力ムラは 甲状腺被曝線量測定を拒否した **重大棄民**

1080人(対象者37万人の0.3%)に対する測定は 科学の体をなさない

極端な過少評価を導くデタラメ測定方法 虚偽表示

これがUNSCEAR等に悪用され、「低線量被曝」に 国/福島県はこれに飛びつき 「甲状腺がん」は事故に無関係!

典型的な「科学の振りをした」**住民欺し** 福島県知事は「調査は住民に不安を与える」

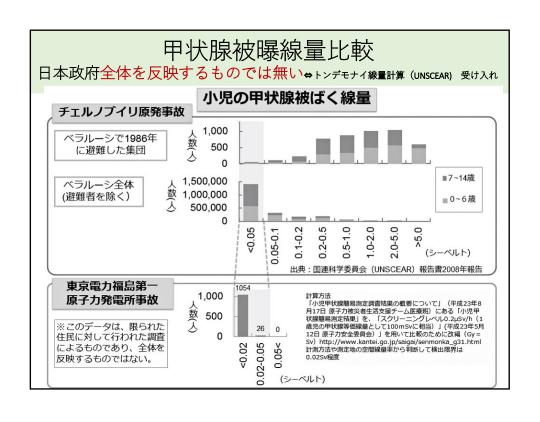
福島県民健康調査検討委員会

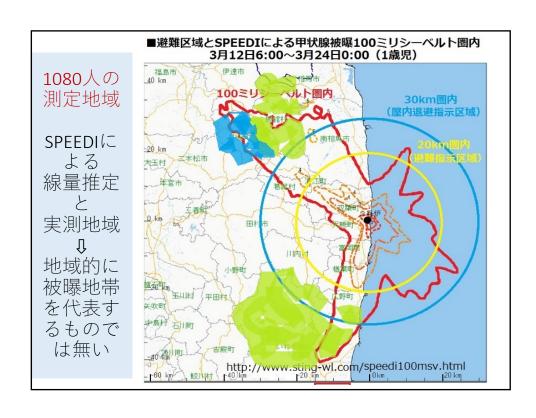
甲状腺がん発症率は

- (1) 甲状腺被曝線量に比例する
- (2) 検査期間に比例する 検査期間とは以前に確認した時から 今回の確認までの期間

委員会は**検査期間を指標から外す** 科学的自明な原理をメチャクチャ扱い

⇒事故(放射線量)とは無関係





①発症期間が非常に短い ②全ての調査で「新たにがん疑いが出現」 将来に於けるがん発見の先取り説を否定する

福島県民健康調査甲状腺検査結果 第42回検討委員会 (2021年7月26日) 発表まで

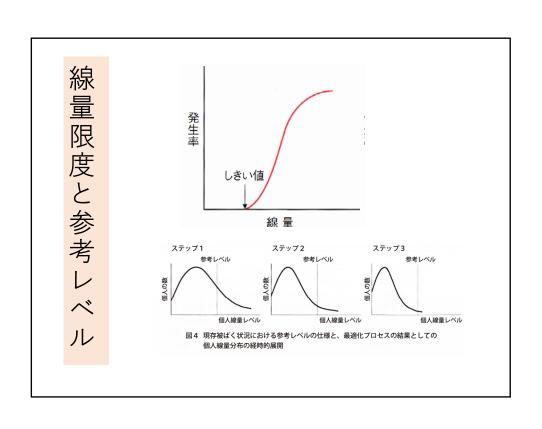
	一巡目検査 (2011~2013度)	二巡目検査 (2014~2015年度)	三巡目検査 (2016~2017年度)	四巡目検査 (2018~2019年度)	節目検査 (2017年 ~	Ħ
悪性ないし悪性疑い	116	71 一巡目検査結果 A1:33、A2:32、B:5 未受診:1	31 二巡目検査結果 A1:7、A2:14、 B:7 未受診:3	33 三巡目検査結果 A1:6、A2:18、 B:6,未受診:3	9 前回検査結果 A2:2, B:2, 未受診:5	260
男女比 事故時年令 (平均)	39:77 6~18 (14.9±2.6)	32:39 5~18 (12.6±3.2)	13:18 5~16 (9.6±2.9)	11:16 0~12 (7.9±2.8)	2:5 16~18 (17±0.8)	
受診 (受診率)	300,472 (81.7%)	270,540 (71,0%)	217,922 (64.7%)	183,298 (62.3%)	7,621 (8.7%)	
手術結果	102 乳頭がん:100 低分化癌:1 良性:1	54 乳頭がん:53 その他のがん:1	29 乳頭がん:29	27 乳頭がん:27	6 乳頭がん:5 濾胞が ん:1	218 がん確 定:217

甲状線がんの増殖速度の速さを示す重要な知見

2年間で検出不能から少なくとも5.1mm増大した人は 2巡目33人、3巡目7人、4巡目6人、計:46人

ICRP2007 勧告被爆状況

被曝状況↩	内容↩
計画被曝↩	線源の計画的導入と操業に伴う状況↩
	年間 1ミリシーベルト←
	被曝線量制限の用語:線量限度↔
緊急時被曝↩	至急の注意を要する予期せぬ状況↩
	年間20~100ミリシーベルトの範囲で指定←
	被曝線量制限の用語:参考レベルや
現存被曝↩	管理に関する決定をしなければならない時点で↩
	既に存在する被曝状況 ↔
	年間~20ミリシーベルトの範囲↔
	被曝線量制限の用語:参考レベルロ



	为	見制値比輔	交		
ウクライナ	Bq/kg	ベラルーシ	Bq/kg	日本	Bq/kg
パン・パン製品	5	飲料水	0.37	一般食品	100
ジャガイモ	20	ミルクとミルク製品	3.7	乳児用食	品 50
野菜(根菜,葉菜)	20	パンとパン製品	3.7	牛乳	50
果物	10	ジャガイモ	3.7	飲料水	10
肉・肉製品	20	(調理済みの)幼児用食品	1.85		
魚・魚製品	35				
ショル が 制口	0.0	7			
ミルク・乳製品	20				
ミルク・乳製品 卵(1ヶ当り)	20	_ 『放射線のホ 世界で最も厳し		見庁)13ペー て掲示されて	
		「世界で最も厳し		て掲示されて	
卵(1ヶ当り)	2	「世界で最も厳し	の放射性物質に	て掲示されて	いる表
卵(1ヶ当り) 飲料水	2 2	「世界で最も厳し _{食品中}	の放射性物質に	て掲示されて ^{関する基準}	いる表 ^{単位:ベクレル/kg}
卵(1ヶ当り) 飲料水 コンデンスミルク	2 2 60	「世界で最も厳し 食品中 日本 EU 飲料水 10 飲料水 牛乳 50 乳製品	い…」とし [*] の放射性物質には 1000 1000	で掲示されて ^{関する基準} アメリカ	いる表 ^{単位:ベクレル/kg} コーデックス
卵(1ヶ当り) 飲料水 コンデンスミルク 粉ミルク 野生イチゴ・キノコ(生)	2 2 60 100	「世界で最も厳し 食品中 日本 EU 飲料水 10 飲料水	い…」とし [*] の放射性物質には 1000 1000	で掲示されて ^{関する基準} アメリカ	いる表 ^{単位:ベクレル/kg}
卵(1ヶ当り) 飲料水 コンデンスミルク 粉ミルク	2 2 60 100 50	「世界で最も厳し 食品中 日本 EL 飲料水 10 飲料水 牛乳 4果別 50 乳製品 乳児用食品 乳児用食品 50 乳児用食品	いい・・・」として の放射性物質に 1000 1000 3 400	で掲示されて ^{関する基準} アメリカ	いる表 ^{単位:ベクレル/kg} コーデックス 乳児用食品 1000
卵(1ヶ当り) 飲料水 コンデンスミルク 粉ミルク 野生イチゴ・キノコ(生) 野生イチゴ・キノコ(乾燥)	2 2 60 100 50 250	「世界で最も厳し 食品中 日本 EL 飲料水 10 飲料水 牛乳 4果別 50 乳製品 乳児用食品 乳児用食品 50 乳児用食品	いい・・・」として の放射性物質に 1000 1000 3 400	で掲示されて ^{関する基準} アメリカ	いる表 ^{単位:ベクレル/kg} コーデックス 乳児用食品 1000

事故	对前	20)08 ⁴	手 汚染	度					
表	表 3. 2 環境試料中の ⁹⁰ Sr 、 ¹³⁷ Cs 濃度(平成 20 年度分析分)									
試 料 名	5	分析		⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs					
(単位)		試料数	平均値	範 囲	平均値	範 囲				
大気浮遊じん(mBa/m³)	140	0. 00062	0.00000 ~ 0.0026	0.00018	0.00000 ~ 0.0013				
降下物(MBa/		585	0.019	0.0000 ~ 0.23	0.016	0.0000 ~ 0.61				
陸水	上水	60	1.1	0.000 ~ 2.5	0.040	0.000 ~ 0.25				
(mBq/L)	淡水	9	1.6	0.000 ~ 3.1	0. 20	0.000 ~ 0.91				
土壌	0~5 (cm)	50	1.8	0.000 ~ 8.6	11	0.048 ~ 61				
(Bq/kg乾土)	5~20 (cm)	50	1. 5	0.000 ~ 6.6	5. 5	0.000 ~ 24				
精米(Bq/kg		66	0.0072	0.0000 ~ 0.021	0.012	0.0000 ~ 0.17				
野菜類	根菜類 葉菜類	37 37	0. 051	0.0000 ~ 0.19	0.0082	0.0000 ~ 0.097				
(Bq/kg生) 茶(Bq/kg		21	0. 059 0. 29	0.0050 ~ 0.33 0.032 ~ 0.98	0. 016 0. 24	0.0000 ~ 0.087 0.0084 ~ 0.82				
# (Bq/ kg 牛乳, (Ba/		53	0. 29	0.0000 ~ 0.044	0. 24	0.0084 ~ 0.82 0.0000 ~ 0.080				
サチレ (Ba/kg*		12	0.017	0.0000 ~ 0.044	0.012	0.0000 ~ 0.000				
日常食(Ba/人	(月)	103	0. 10	0.0001 ~ 0.37	0. 20	0.0027 ~ 1.2				
海水(mBc	7/ 1-7	30	1.2	0.74 ~ 1.6	1.5	0.004 ~ 0.000				
海底土 (Bq/kg	ı, —,	15	0.094	0.000 ~ 0.17	0.80	0.090 ~ 2.4				
	魚類	27	0.0063	0.0000 ~ 0.018	0.001	0.040 ~ 0.22				
海産生物	貝類	10	0.0003	0.0000 ~ 0.013	0.018	0.011 ~ 0.037				
(Bq/kg生)	~	11	0. 026	0.012 ~ 0.051	0.019	0.0097 ~ 0.029				
淡水産生物(Bo		7	0. 15	0.0000 ~ 0.56	0. 079	0. 018 ~ 0. 13				